

① 陰部等皮膚腫瘍切除・焼灼手術について

- ・当院では、局所麻酔を使用した、外科切除・電気焼灼術を行っています。
- ・とった皮膚の一部で病理検査を行います。
- ・除痛のため、麻酔シールを使用します。保険適用外（自費費用）です。1枚110円（税込）。

合併症について

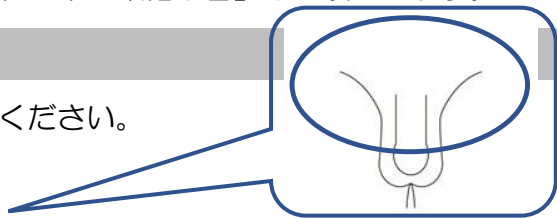
- ・傷の感染・化膿：稀です。創部から膿が出たり、腫れたりします。
- ・瘢痕形成：創部がケロイドになることがあります。
- ・違和感・変色：処置した部分に違和感が残ったり、皮膚の色が変わったりすることがあります。
- ・局所麻酔中毒：稀です。
- ・迷走神経反射：稀です。緊張からおこります。

② 手術前～手術後のながれ

- ・術前検査（感染症の採血検査）を受けていただきます。
- ・手術日を決めてください。手術日の予約をとります。（後日電話連絡可。手術は先着順になっています。）
- ・現在服用中の内服薬を確認します。休薬が必要な薬がある場合は、「中止薬指示書」をお渡しします。

手術前日まで

- ・安全に手術を受けるために、かぜ等引かないよう、体調を整えてください。
- ・「中止薬指示書」がある場合は、指示の通り休薬してください。
- ・手術前日から、飲酒・タバコは禁止です。



剃毛 陰部周辺の毛を剃ってください。（できものは傷つけないように。）

手術当日～来院

- 来院時間** 来院時間は、12：45です。
- 手術時間** 手術は13：00からです。来院前に入浴を済ませて、清潔にしてください。

手術前～手術中～手術後

- ・バイタルサイン測定（血圧・脈拍・体温）をして、術前の体調確認します。
- ・電気メスを使用しますので、ポケットの中身は全てだし、時計・アクセサリーなどは全て外してください。（眼鏡・マスクはつけたままで可。）
- ・処置室にて、処置部位に除痛のため麻酔シールを貼ります。（1-4枚程度使用します。）
- ・手術室に移動します。ズボンと下着を膝まで下げて、手は胸のあたりに置いてください。
- ・術野が見えないよう、前を隠します。
- ・処置部位の消毒をします。局所麻酔の注射をします。できものを切除・焼灼します。
- ・処置部位の止血を確認し、軟膏を塗って、手術終了です。
- ・受付にて、手術料のお支払いをお願いします。（現金・クレジットのみです。）

帰宅後

- 内服薬** 処方箋があります、帰宅前に調剤薬局で薬をもらってください。
抗生剤・止血剤・鎮痛薬などが処方されます。
アレルギーなど、重篤な副作用がない限り、抗生剤・止血剤は全て服用してください。

体調確認の連絡について

- 手術当日19：30頃** 初回の処置の方は、体調確認のため、クリニックまで連絡をいれてください。
（北村クリニック ☎075-746-6301）

術後の経過について

- 傷の痛み：痛みがある場合は、処方された鎮痛薬（痛み止め）を服用してください。
- 傷からの液体：局所麻酔・焼却をしていますので、多少の染み出し出血があります。
（出血がある場合は、ティッシュ等で2分くらい抑えてください。）

• 尖圭コンジローマの診断の場合：

非常に再発をしやすい病気です。

手術後、次の診察までの間に、新しい尖圭コンジローマが出てくる場合があります。
しばらくの間、1ヶ月毎に診察が必要です。再発が見つければ適宜処置していきます。
根気の必要な長い治療経過になることが多いので、しっかり理解をしてください。

• 悪性腫瘍の診断の場合：

追加検査・治療が必要な場合があります。

診断結果によっては皮膚腫瘍専門の高次医療機関への紹介となります。

手術翌日～

術後の診察について

手術2週間後

診察・創部の状態を確認します。病理検査の結果を説明します。
（術後診察まで、自己で創部の消毒・軟膏塗布などが必要です。）

手術1ヶ月後

診察・再発がないか確認します。

創部の処置について

消毒

手術当日のシャワー浴後から、1日1回、軟膏塗布してください。

①シャワーする。（創部はゴシゴシ洗わないようにしてください。）
（石鹸やボディソープの使用は可能です。）

②軟膏を塗る。（素手で塗らず、綿棒等に軟膏をとって塗ってください。）

手術後の生活について

入浴

手術当日から、シャワー浴が可能です。

術後3日後から、湯船につかることが可能です。

飲酒・タバコ

内服薬服用中は禁止です。抗生剤の効果が下がります。

性行為・自慰行為

術後2週間後の診察まで、他者との接触は禁止です。

（性感染症の可能性がありますが、病理検査の結果がでるまでは禁止です。）

③ 尖圭コンジローマについて

- ・性器疣贅（ゆうぜい）ともいいます。陰部を中心に発生する「いぼ」のような皮膚病変です。
- ・20代の男女に多く見られる性感染症です。性行為で感染します。
- ・2mm程度のものから、大きくなるとカリフラワー状・ニワトリのトサカ状になってきます。

原因について

- ・ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で発症します。
- ・潜伏期間は、3週間～8ヶ月程度と長いです。
- ・性行為（オーラルセックス含む）などによって、性器・肛門部周囲・直腸・口腔内などに感染します。
※ 男性：陰茎・亀頭・尿道口・包皮の内側・陰囊の皮膚・会陰部など
※ 女性：大陰唇や小陰唇・膣・子宮頸部など に多いです。
- ・男性で、仮性包茎の場合は、特に発症率が高くなります。
（慢性的な包皮内部の皮膚の炎症により、皮膚のバリア機能が低下しており、感染しやすい状態のため。）

症状について

- ・初期には自覚症状はありません。（見えにくい位置にあると、発見しにくいです。）
- ・イボが徐々に大きくなってくると、かゆみや痛みを伴うことがあります。
- ・女性の場合、外陰部のしこりや、おりものが増えるといった症状がみられる場合もあります。

予後について

- ・イボがどんどん増えて、広がっていきます。
- ・癌化することがあります。
（子宮頸癌・咽頭癌・口腔癌・肛門癌・陰茎癌・外陰部癌・膣癌などとの関連性が指摘されています。）

診断について

- ・感染の可能性に関する問診、視診、病理学的検査（顕微鏡で組織を詳しく観察）にて診断します。
- ・性器周囲にイボができる皮膚病変（他の皮膚疾患、癌の可能性、梅毒の感染など）は多くあります。
- ・視診だけでは誤診の可能性があるため、病理検査にて確実に診断します。
- ・尖圭コンジローマは、発症していないと病理検査が難しいです。
- ・HPV型別検査（尖圭コンジローマの原因：HPVの遺伝子の型を調べる）は発症前から可能です。
※ 男性の場合：性器皮膚など気になる部位を擦過し、皮膚組織を擦り取って検査します。
※ 女性の場合：婦人科医療機関で検査が受けられます。子宮頸部の擦過をテストします。

治療について

- ・外科治療、薬物治療があります。
- ・イボの大きさ・数・位置・これまでの治療の有無・回数などを検討した上、治療法を選択します。

外科的治療：外科切除（メスで切り取る）・電気焼灼術（電気メスで焼き切る）・凍結療法（液体窒素）など

- ・当院では、目立つ病変に関し、局所麻酔を使用しての外科切除・電気焼灼術を行っています。
- ・尖圭コンジローマの治療としては、電気的な焼灼処置が一番効果があるようです。
- ・デメリットは、処置の後の皮膚に瘢痕形成が起こる可能性があります。

薬物治療：イミキモドクリーム（外用薬）

- ・2ヶ月の外用で、70%程度に効果があります。（30%は効果がありません。）
- ・亀頭部や尿道周囲などの粘膜面には使用できません。
- ・塗ったままでは性行為は禁止である等、注意点があります。
- ・30%程度は、中程度以上の皮膚炎になります。（皮膚炎の場合、外用は停止して適切に対応します。）

経過について

- 尖圭コンジローマは大変再発しやすいです。自然治癒はしませんので、再発する度、処置が必要になります。
- 治癒には数ヶ月単位と長期間要することが多いです。根気が必要です。
- 免疫力が大きく治療経過に影響します。（免疫が下がった時に大量に発生することがあります。）
- 女性の子宮頸癌の原因となります。自身だけの問題ではありません。パートナー共々での治療が望ましいです。

予防について

- 感染のリスクを高めることは、やめることが大切です。
 - コンドームを使用する。
 - 不特定多数との性交渉を控える。
- パートナーにも感染します。発症中は、パートナーとの性行為はやめましょう。
- 喉への感染リスクがあります。発症中は、オーラルセックスはやめましょう。

④ ヒトパピローマウイルス（HPV）について

- 遺伝子タイプは100種類以上あり、性行為経験があれば、ほぼ感染しているといえるウイルスです。
- 尖圭コンジローマは、90%以上の原因が、HPV6/11型の感染によるものです。
（感染から数ヶ月で、70%程度が尖圭コンジローマを発症します。）
- HPV16/18型は、発癌の原因となります。
 - ※ 男性の場合:咽頭癌で95%、陰茎癌で87%、HPV感染が関連しているとされています。
 - ※ 女性の場合:子宮頸癌で100%、HPV感染が関連しているとされています。

HPVワクチンについて

- 2価（16/18型予防）：サーバリックス
- 4価（16/18/6/11型予防）：ガーダシル
- 9価（16/18/6/11/31/33/45/52/58型予防）：シルガード の3種類があります。
 - ※ 4/9価ワクチンは、尖圭コンジローマ・発癌予防、パートナーの発癌予防に有効です。
- 合併症などリスクもほぼ無く、世界中で接種されている、安全性の高いものです。
（日本で、ワクチンとの因果関係は不明で、重篤な症状として報告あったのは、1万人あたり約3-5人です。）
- 男性の接種推奨年齢は26歳とされていますが、26歳以上が接種禁止ではありません。
（効率のよいHPV感染予防として、疫学的な推奨年齢です。）
- 性的活動性・ライフスタイルは個人差が大きいです。推奨年齢以上でも、ワクチン接種は推奨されます。
（ワクチンに対応した型で、現在感染していないHPV型に対しての予防効果があります。）

⑤ 手術料金について

手術料金の概算は下記になります。手術当日の手術前にお支払いいただきます。

手術当日に追加検査があった場合は、別途費用が必要になります。

■ コンジローマ切除術

手術・処方箋等	¥10,000
麻酔シール	¥110-440
手術日当日の支払合計（概算）	約 ¥10,500

■ 外尿道口腫瘍切除術

手術・処方箋等	¥12,500
麻酔シール	¥110-440
手術日当日の支払合計（概算）	約 ¥13,000

縫合が必要な方、下記料金が別途必要になります。

スキンマーカー	¥330
衛生材料	¥3,900

※ 手術は保険適用です。

※ 調剤薬局で支払う薬剤料も含まれます。

■ 皮膚皮下腫瘍切除術

3cm未満	
手術・処方箋等	¥10,000
麻酔シール	¥110-440
手術日当日の支払合計（概算）	約 ¥10,500

3cm以上～6cm未満	
手術・処方箋等	¥15,500
麻酔シール	¥110-440
手術日当日の支払合計（概算）	約 ¥16,000

6cm以上～12cm未満	
手術・処方箋等	¥18,500
麻酔シール	¥110-440
手術日当日の支払合計（概算）	約 ¥19,000

(税込)

⑥ 手術キャンセル料について

当院では、手術キャンセル料を設定しています。

手術をキャンセルされた場合は、下記のキャンセル料をお支払いいただきます。

※ 手術希望の方が多数おりますので、キャンセル料発生日より前であっても、手術日確定後は、キャンセル・日付変更がないようにしてください。

(税別)

キャンセル料発生日		キャンセル料		
		7日前～10%	3日前～30%	手術当日100%
コンジローマ切除術		¥1,360	¥4,080	¥13,600
外尿道口腫瘍切除術		¥2,180	¥6,540	¥21,800
皮膚皮下腫瘍 切除術	3cm未満	¥1,280	¥3,840	¥12,800
	3cm以上～6cm未満	¥3,230	¥9,690	¥32,300
	6cm以上～12cm未満	¥4,160	¥12,480	¥41,600

※ キャンセル料発生日は診療日の7日前からです。

※ キャンセル料発生日数の期間に、休診日は含みません。

※ 急な体調不良などの理由で手術のキャンセル・変更をされる場合は、医師の診断書の提出をお願いする場合があります。

※ 休診日は、電話も繋がりませんのでご注意ください。